

まちの日記帳



健やかな成長を願って 保育所で“こどもの日会”

4/26

びくに・みなと保育所で“こどもの日会”が行われ、園児たちは、絵本やゲーム、「こいのぼり」の歌を歌うなどして楽しい時間を過ごしました。

一人ひとりの個性が発揮された手作りの色鮮やかな「こいのぼり」や「かぶと」の制作発表を行うときは、それぞれが工夫した部分や上手に出来た箇所などを一生懸命に発表しました。



▲びくに保育所



▶みなと保育所

“音楽”の癒しに参加を 「リフレッシュ学級」

5/9

今年度1回目のリフレッシュ学級「開級式・音楽療法体験」がB & G海洋センターで行われ、22人が参加しました。

おなじみの音楽療法士の近藤ひとみさんを講師に招き、春の季節にちなんだ歌を歌ったり、ハンドベル演奏では、全員で「ふるさと」の曲を演奏し、その演奏に合わせて合唱するなど、和やかな雰囲気の学級でした。



郷土の景観づくりに感謝 ボランティアによる「花まちづくり」

5/10

町内の10名のボランティアと町職員3名が、「岬の湯」看板付近の道路の両脇に咲くスイセンの手入れや除草を行いました。

平成19年から今回で13年目のこの活動は、ボランティア活動のアピールの機会として、また町が明るくなりますようにという願いが込められています。

ボランティア活動の輪の広がりや、協働のまちづくりを支えます。



自然の恵みに感謝し、味わう 少年教室「春の山菜採り」

5/11

町野外スポーツ林スキー場で、橋場政男町山岳愛好会会長と佐藤多美子北海道フードマイスターのお二人を講師に招き、第1回少年教室「春の山菜採り」が催され、小学生や保護者等9人が参加しました。

橋場講師からの「山菜は育つのに時間がかかるので、おやみに採取せず、資源を守ることが重要」というアドバイスを守りながら参加した小学生は、タケノコやウド等を一生懸命採取していました。

佐藤講師の指導のもと、採取した山菜を天ぷらにした参加者は自分で採取した自然の風味を笑顔で味わっていました。



練習の成果を競う 第29回町内ゲートボール大会

5/14

ふれあいゲートボール場で第29回B & G杯争奪ゲートボール大会が行われ、3チーム計14名が普段の練習の成果を発揮し、白熱した戦いでした。

大会結果は以下のとおりです。

優勝 積丹Bチーム (代表 岡崎 一美)

準優勝 積丹Aチーム (代表 戸来 幸彦)

第3位 積丹Cチーム (代表 新井田 明見)



自分たちでもできる“ゴミ”のないまちづくり 美国婦人会が清掃活動

5/27

本格的な観光シーズンを前に、美国婦人会（魚屋友子会長）は町内の清掃活動を行いました。

この日の清掃活動には11人が参加し、火バサミなどを片手に約2時間をかけて熱心にゴミを拾い集めました。

毎年、同会が事業計画として続けているこうした地域のボランティア活動が今後更に広がってほしいものです。

